

「ジャック・ケルアック『オン・ザ・ロード』とビート・ジェネレーション」展開催報告

第二次世界大戦後のアメリカ文化に大きな影響を与えた小説家・詩人ジャック・ケルアックとビート・ジェネレーションと呼ばれる作家たちを紹介する展覧会を7月3日(土)～8月8日(日)の期間に開催しました。本展覧会は英米学科マシュー・セアド教授監修の下、BBプラザ美術館と本学とで共同開催し、多くの方々にご来場いただき、メディアにも多く掲載されました。

展覧会：

ジャック・ケルアック『オン・ザ・ロード』とビート・ジェネレーション
書物からみるカウンターカルチャーの系譜

Discover America and the Beat Generation:

Jack Kerouac Types On the Road The Genealogy of a Counterculture through Publications

展示内容：

本展覧会では、ジャック・ケルアックとその周辺のビート・ジェネレーションと呼ばれる作家たちに焦点を当て、ケルアックの全著書の初版本やビート・ジェネレーション作家たちの蔵本、更に日本のカウンターカルチャー黎明期のミニコミ誌まで、初公開の資料を含む300余点を出品し、その魅力に迫りました。

また、ジャック・ケルアック エステートとジム・アーサー コレクションの協力を得て、ケルアックがタイプライターで21日間打ち続けて書き上げたと言われる『On the Road』のスクロール原稿(全長約36メートル)を印刷再現し、公開しました。なお、原稿本体は2001年にオークションに出品され240万ドルで落札されています。

ギャラリートーク、シンポジウムでは、YouTube同時配信も行いました。下記リンクでご覧いただけます。

【Kerouac in Japan】

https://www.youtube.com/channel/UCflKot_2T_I-sMTZt_kK_q0g/videos

関連行事：

◇ギャラリートーク@BBプラザ美術館

- 第1回 7月 3日(土) ケルアックとタイプライター
- 第2回 7月10日(土) 『オン・ザ・ロード』と映画
- 第3回 7月24日(土) タイプライターの歴史
- 第4回 7月31日(土) 女性とタイプライター
- 第5回 8月 7日(土) 『オン・ザ・ロード』の中の女性たち

◇シンポジウム@神戸市外国語大学

「ジャック・ケルアックの『オン・ザ・ロード』への旅」
7月17日(土)

本展覧会は神戸市外国語大学 マシューセアド教授のJSPS科研費JP18K00422の助成を受けたものです。

大学院 英語学専攻 2年 井上 稚菜さん

ケルアックに関する情報はもちろん、アメリカ文化や当時の世界情勢など、さまざまな要素を考慮しながら翻訳作業・通訳準備に励みました。クラスメイトや先生方と話し合いを重ねていく中で、自分ひとりでは気づくことのできない課題を見つけ、共に取り組むことができました。通訳をしているときはひとりでも、その背景には多くの人とのかかわりがあります。翻訳者・通訳者に求められるのは、単に訳す能力だけではないと痛感し続けた数か月間でした。

英米学科3年 友松 加奈恵さん

まず初めに、今回ケルアック展に関わる機会をくださった、セアド先生を始めとした関係者の皆様に感謝申し上げます。事前作業として、先生が講演で話す原稿を翻訳しましたが、話者の意図を汲み取ってより相応しい日本語に当てはめる、という作業が非常に難しかったです。当日の発表、貴重な展示物の見学に加え、講演会後に、会場に訪された、アメリカ文学に精通している方々と意見を交わすなど、この活動全体を通して、主体的に文学について学ぶことができました。

■ギャラリートーク



■シンポジウム

